

第4回区政モニターアンケート結果

令和7年11月実施

1. 調査目的

■「エシカル消費について」 経済産業部消費生活課

世田谷区では、世田谷区基本計画（2024～2031）及び世田谷区地域経済発展ビジョン（2024～2031）に基づき、エシカル消費の推進に取り組んでいます。

今後、より効果的なエシカル消費の普及啓発を行うための参考とするため、区政モニターアンケートを実施しました。

※人、社会、地域、環境に配慮して商品やサービスを選ぶ消費行動のことを「エシカル消費」といい、国連で定められた「持続可能な開発目標」（SDGs:エスディージーズ）の12番目の目標「つくる責任 つかう責任」の実現に大きく寄与するものです。

■「成年後見制度の認知度について」 保健福祉政策部生活福祉課

世田谷区では、世田谷区成年後見制度利用促進基本計画（令和6～13年度）に基づき、認知症や障害などで物事を決めるのが難しくなった場合に、成年後見制度を利用して住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、成年後見制度の利用を広める取組みをしています。

今回の調査結果を、前回実施時の令和5年度の調査結果と比べることで、世田谷区成年後見制度利用促進基本計画の効果を検証し、令和9年度に行う計画の見直しに役立てるため、区政モニターアンケートを実施しました。

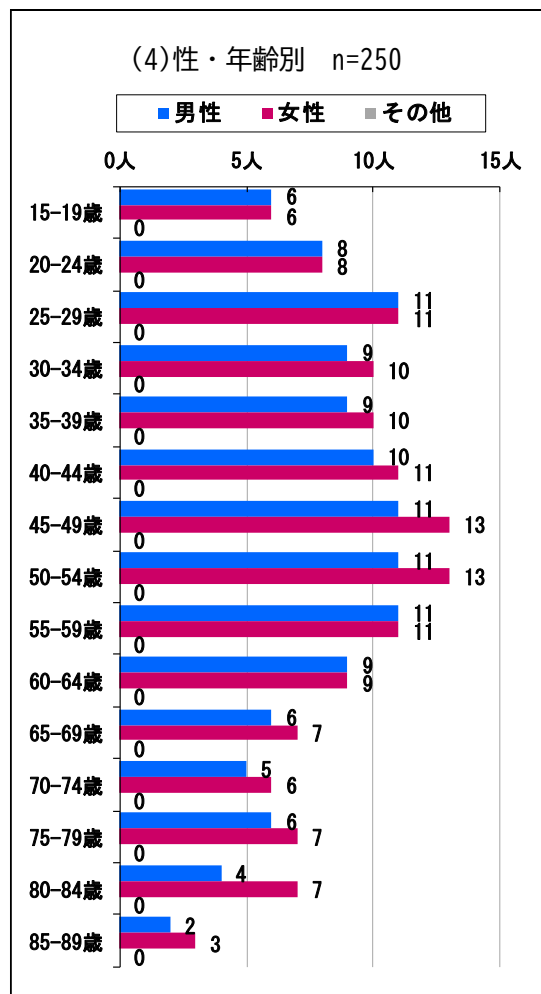
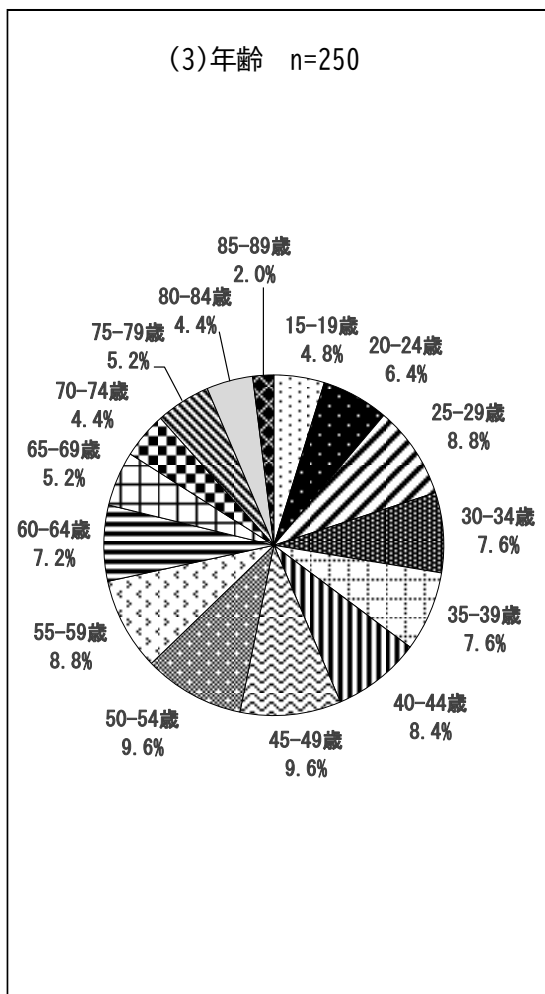
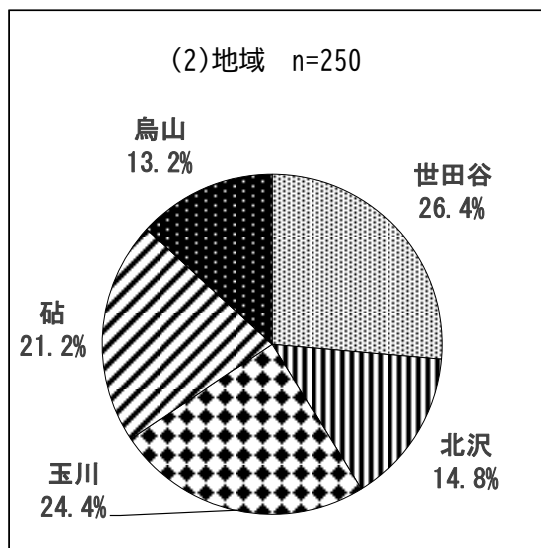
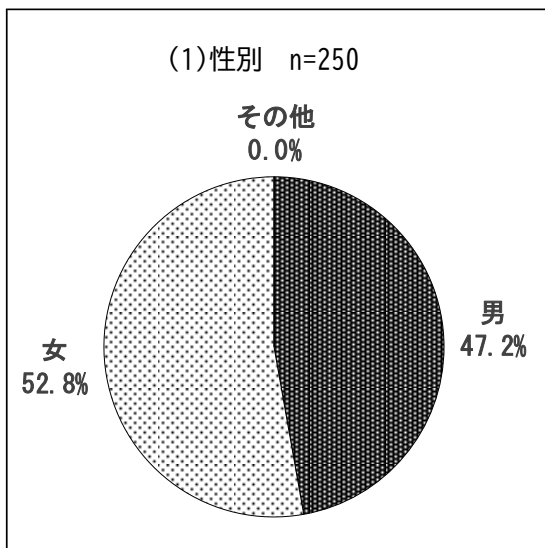
■「犯罪被害者等支援について」 生活文化政策部人権・男女共同参画課

世田谷区は、令和7年4月「世田谷区犯罪被害者等支援条例」を施行し、条例に基づき、各種支援を実施している。被害者にとって、よりよい支援とするための検討に資するため、区政モニターアンケートを実施しました。

2. 調査設計

- | | |
|-----------|------------------------------------------------------|
| (1) 定数 | 250人 |
| (2) 調査対象 | 15歳以上で区内在住の方 |
| (3) 調査方法 | Webアンケート |
| (4) 調査期間 | 令和7年11月21日から12月5日 |
| (5) 数値の見方 | 特に断りがない場合、すべての設問のn値は250である。
※n値とはサンプル数（アンケート回答件数） |

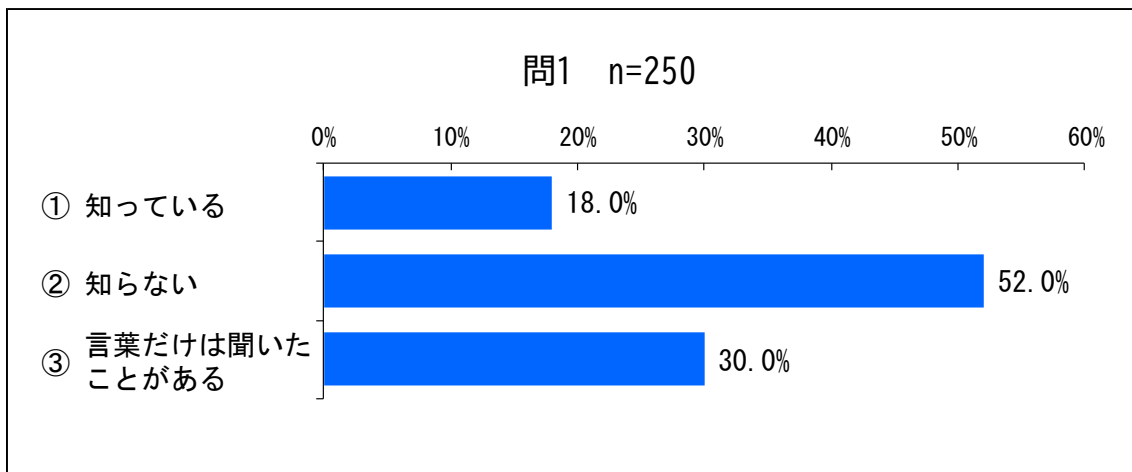
3. 標本構成



4. 質問と回答

■ 「エシカル消費について」

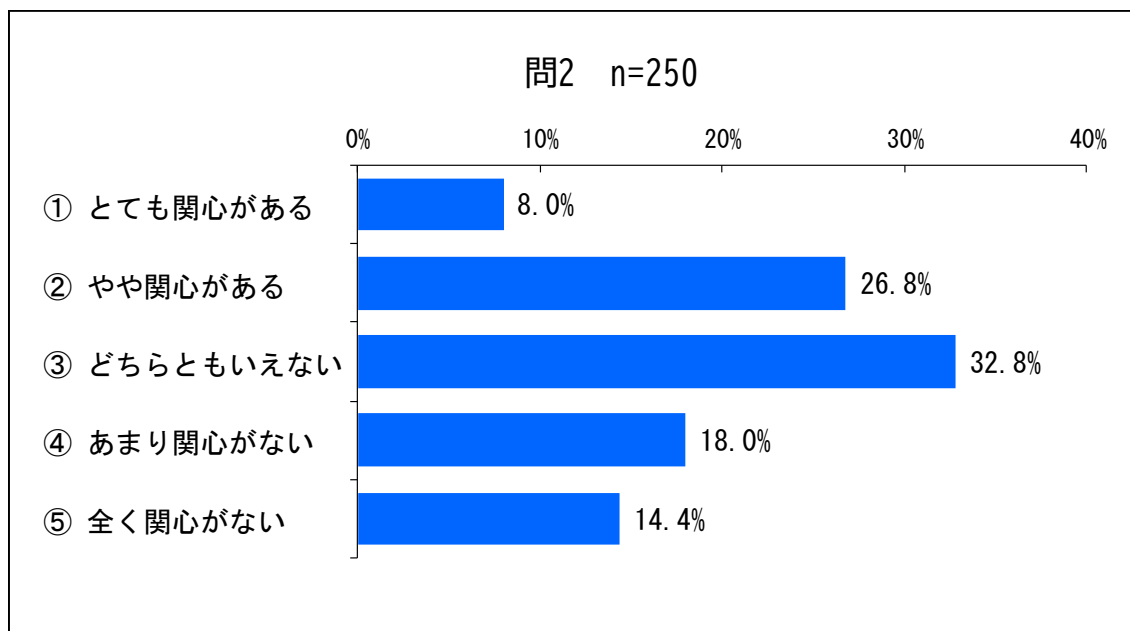
問1. あなたは、「エシカル消費」を知っていますか。
(○は1つ)



<調査結果>

エシカル消費を知っているか聞いたところ、「知らない」(52.0%)が5割を超え、「知っている」(18.0%)を上回った。

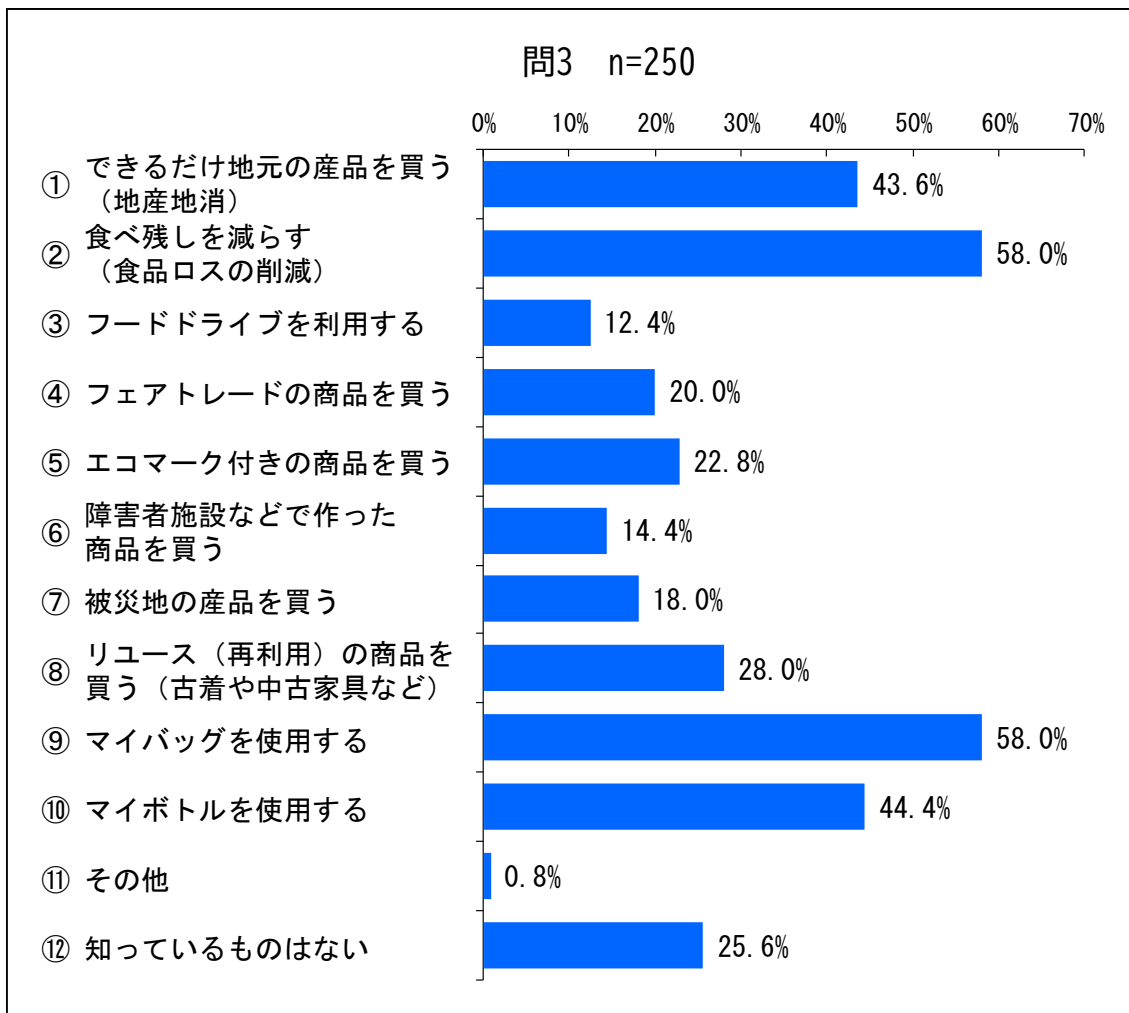
問2. あなたは、「エシカル消費」について関心がありますか。
(○は1つ)



<調査結果>

「エシカル消費」について関心があるか聞いたところ、「どちらともいえない」(32.8%)が3割を超え最も高く、以下、「やや関心がある」(26.8%)、「あまり関心がない」(18.0%)などと続く。

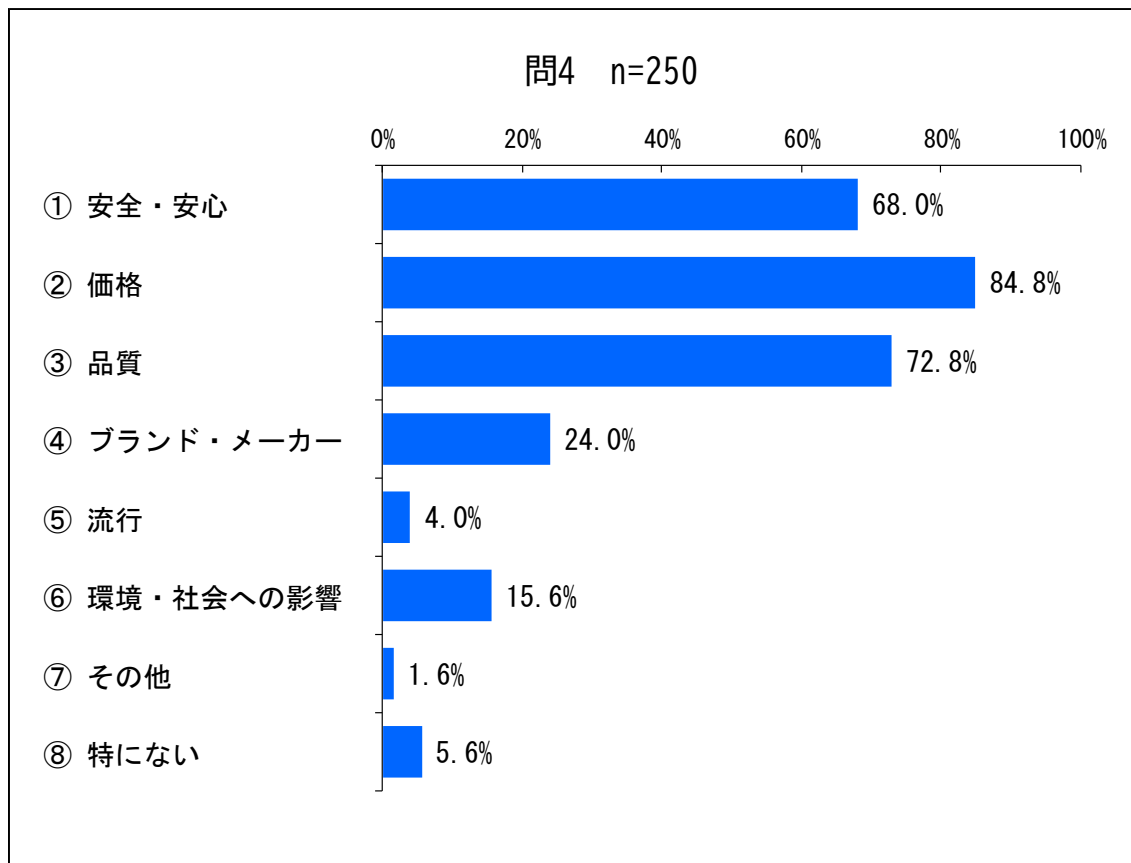
問3. 「エシカル消費」として、あなたが知っている行動はどれですか。
(○はいくつでも)



<調査結果>

「エシカル消費」として、あなたが知っている行動はどれか聞いたところ、「食べ残しを減らす(食品ロスの削減)」(58.0%)、「マイバッグを使用する」(58.0%) が6割近くと最も高く、以下、「マイボトルを使用する」(44.4%)、「できるだけ地元の産品を買う(地産地消)」(43.6%)などと続く。

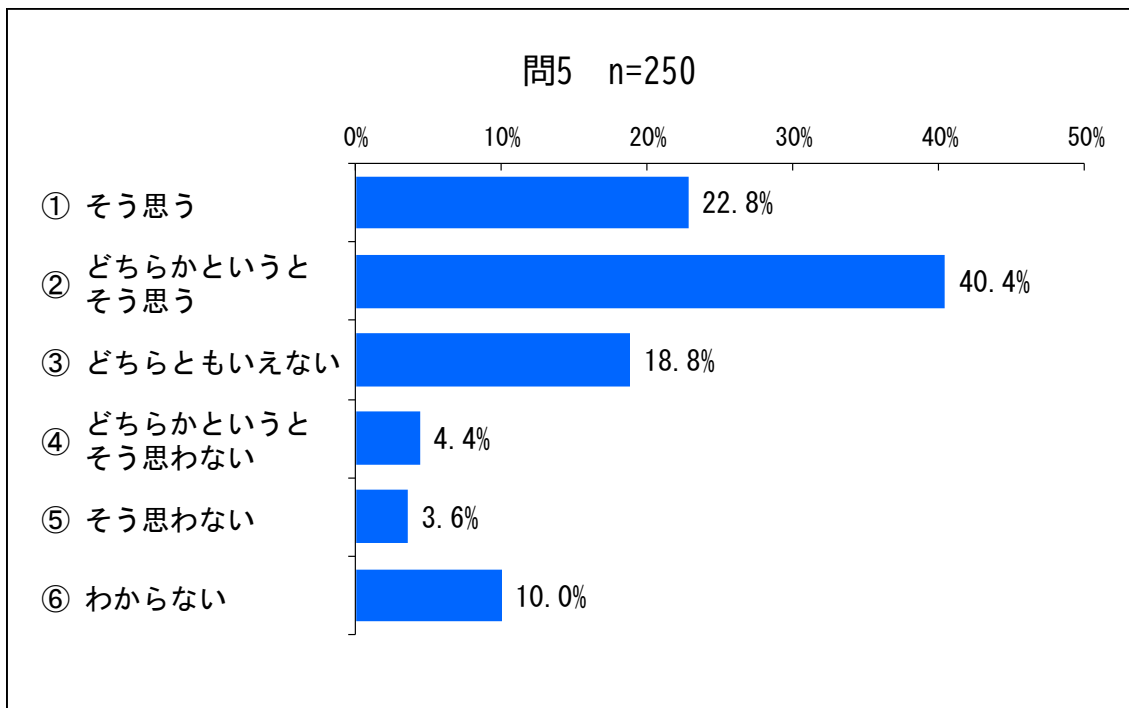
問4. あなたが、商品やサービスを選択する時に、意識するものはどれですか。
(○はいくつでも)



<調査結果>

商品やサービスを選択する時に、意識するものはどれか聞いたところ、「価格」(84.8%)が8割半ばと最も高く、以下、「品質」(72.8%)、「安全・安心」(68.0%)などと続く。

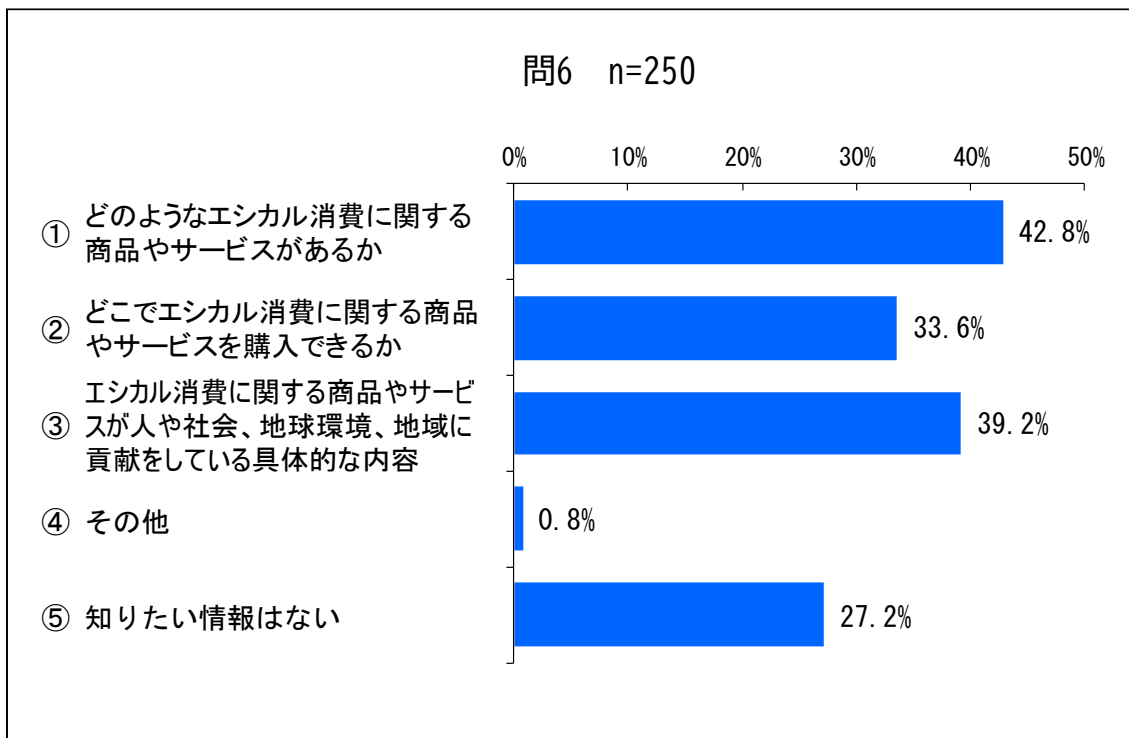
問5. あなたは、事業者等がエシカル消費に関する商品やサービスを提供することが、その事業者等のイメージ向上になると感じますか。(○は一つ)



<調査結果>

事業者等がエシカル消費に関する商品やサービスを提供することが、その事業者等のイメージ向上になると感じるか聞いたところ、「どちらかというと思う」(40.4%)が4割と最も高く、以下、「そう思う」(22.8%)、「どちらともいえない」(18.8%)などと続く。

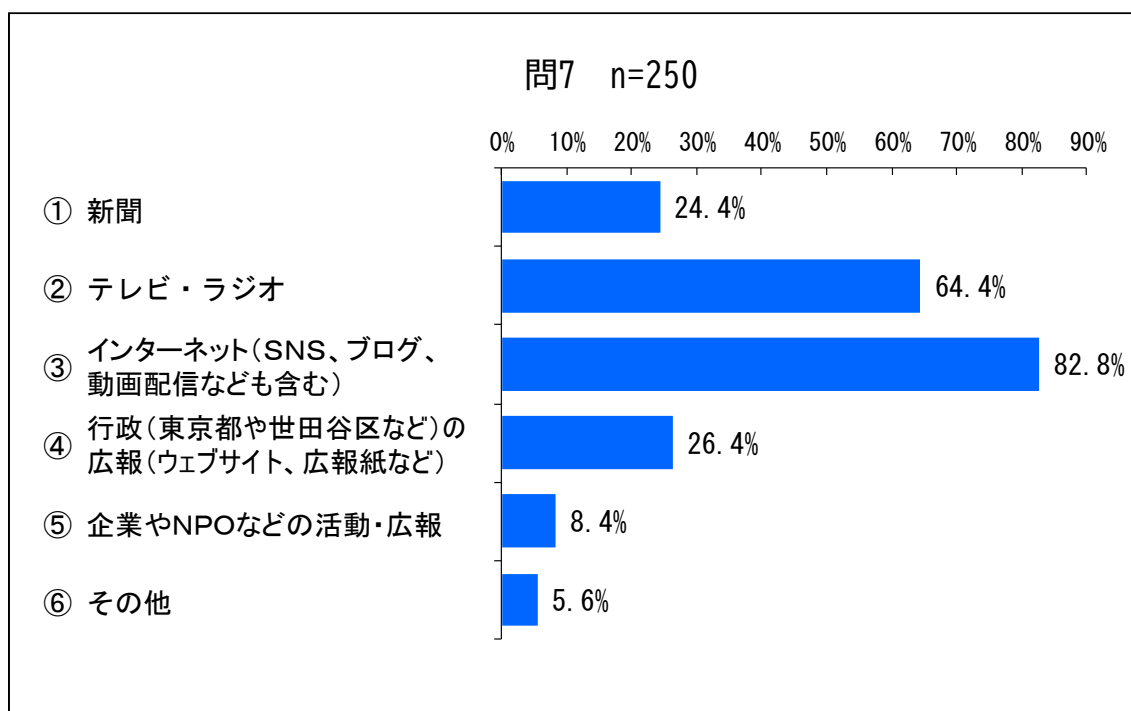
問6. あなたが、エシカル消費に関する商品やサービスについて知りたい情報はどれですか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

エシカル消費に関する商品やサービスについて知りたい情報はどれか聞いたところ、「どのようなエシカル消費に関する商品やサービスがあるか」(42.8%)が4割を超え最も高く、以下、「エシカル消費に関する商品やサービスが人や社会、地球環境、地域に貢献をしている具体的な内容」(39.2%)、「どこでエシカル消費に関する商品やサービスを購入できるか」(33.6%)などと続く。

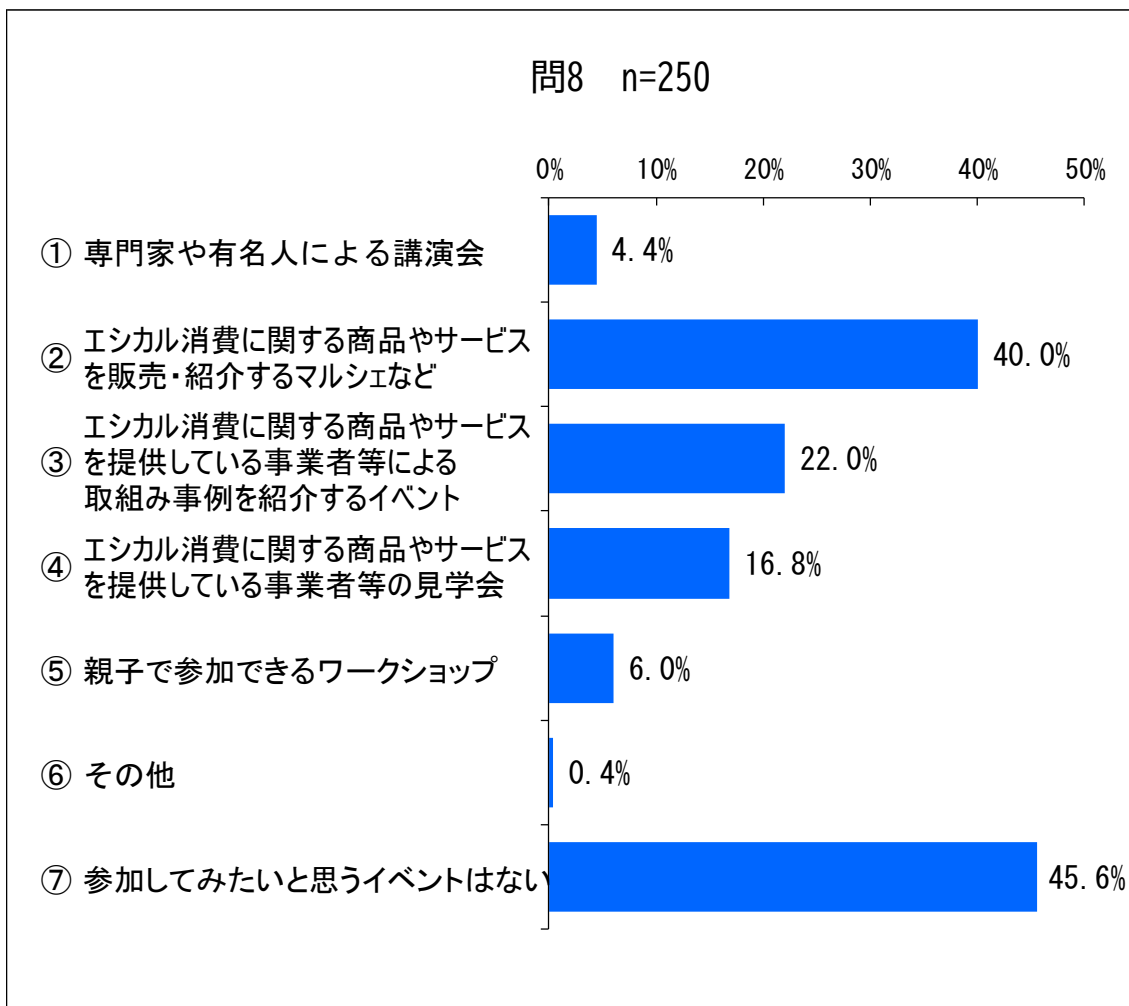
問7. あなたが、日頃、利用している情報源はどれですか。(○はいくつでも)



<調査結果>

日頃、利用している情報源はどれか聞いたところ、「インターネット(SNS、ブログ、動画配信なども含む)」(82.8%)が8割を超え最も高く、以下、「テレビ・ラジオ」(64.4%)、「行政(東京都や世田谷区など)の広報(ウェブサイト、広報紙など)」(26.4%)などと続く。

問8. エシカル消費に関連して、あなたが参加してみたいと思うイベントはどれですか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

エシカル消費に関連して、あなたが参加してみたいと思うイベントはどれか聞いたところ、「参加してみたいと思うイベントはない」(45.6%)が4割半ばと最も高く、以下、「エシカル消費に関する商品やサービスを販売・紹介するマルシェなど」(40.0%)、「エシカル消費に関する商品やサービスを提供している事業者等による取組み事例を紹介するイベント」(22.0%)などと続く。

問9. 前問のエシカル消費に関して、あなたが参加してみたいと思うイベントで「その他」をお選びの方にお尋ねします。どのようなイベントがあれば参加したいと思いますか。(記述回答)

(主な意見) (全1件)

- エシカル消費に関するボランティア活動、地域運動会

問10. エシカル消費についてご意見等があればお聞かせください。(記述回答)

(主な意見)

- 言葉を聞いたことがある程度でエシカル消費についてよく知らないので、スーパーやメディアでもっと発信して情報を提供してほしい。
- 楽しく学べるイベントがあると手取りやすい
- よくわかっていないが、エコな行動をするという点においては興味があるので、手近なところでできることや参加できることなどLINEや広報紙などで紹介してもらえたらよい。
- まだ広く浸透していないのではないかと。もっと身近に感じられるよう、広めてほしい
- エシカルというわけのわからない言葉でなく、ちゃんと日本語で表現した言葉を使ってほしい
- 実際どういうものなのか、どういう効果があるのかをわかりやすく解説してほしい
- 特別な意識を持たなくても可能な展開が進めば良いと思う。
- SDGsを推進するために必要だと感じている
- マイバッグや食品ロスはすでに実行していてエシカル消費と結びつけた気がする。
- SDGsのゴール12と連動して周知させると浸透が早そう
- 物価高でなかなか、人、社会、環境に配慮した消費にまで気かけられないのが現実。地元のイベントなどで紹介してほしい
- 取り扱い商品の購入方法を広めてほしい
- 理念はいいが、コストパフォーマンスが良くなると買いにくいと思う
- エシカル消費のためにも、自身の家庭のためにもなる行動を無理なくとれたらいいなと思います。
- 意味や趣旨は理解できるが、その事が本当に人のためになっていくのかについて、少し疑問を抱いている。

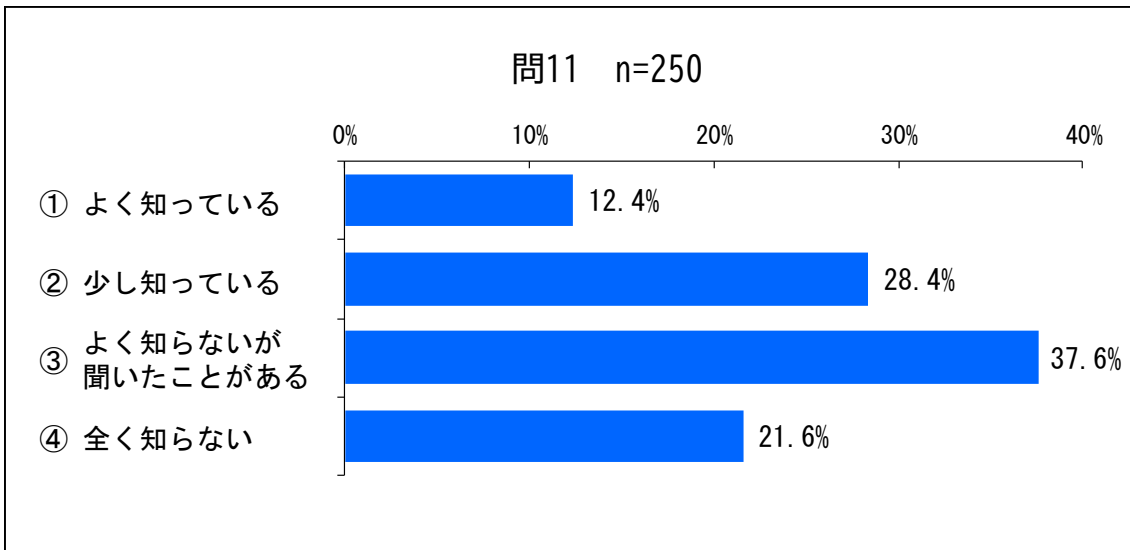
特にない (全 113 件)

興味がない・関心がない (全 6 件)

わからない・思いつかない (全 9 件)

■ 「成年後見制度の認知度について」

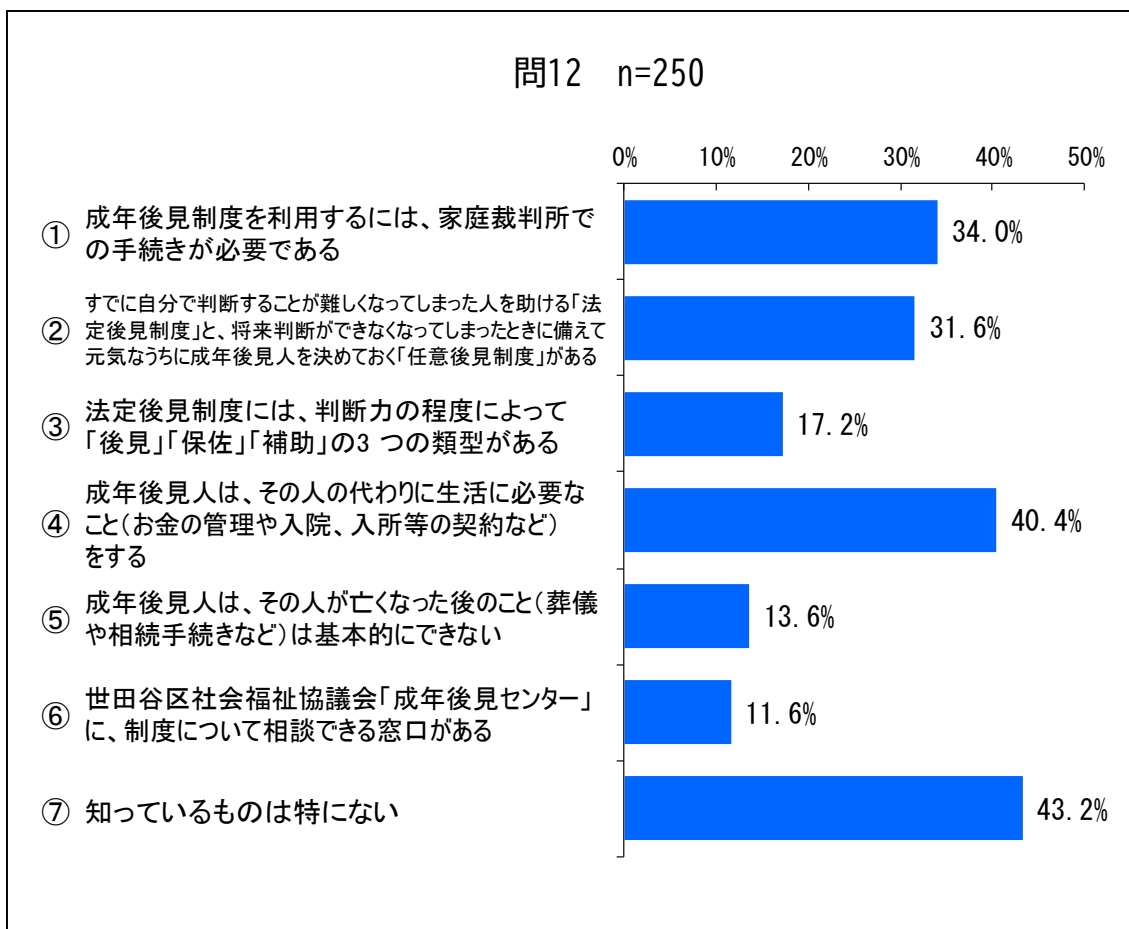
問11. 成年後見制度は、認知症や障害などにより自分で物事を決めるのが難しくなったときに、その人を助けるための制度です。家族、または弁護士・社会福祉士などの専門家が、「成年後見人」として、法的にその人をサポートする制度です。この成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)



<調査結果>

成年後見制度を知っているか聞いたところ、「よく知らないが聞いたことがある」(37.6%)が4割近くと最も高く、以下、「少し知っている」(28.4%)、「全く知らない」(21.6%)などと続く。

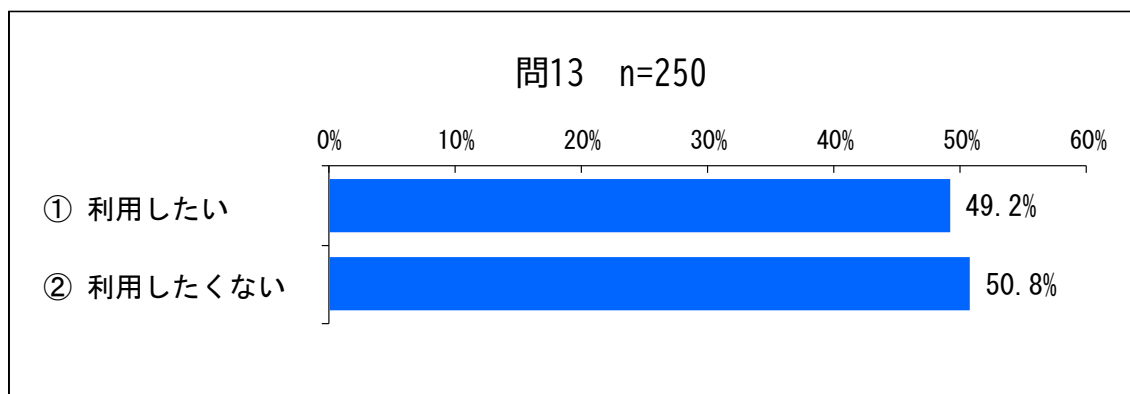
問12. 成年後見制度について知っていることはありますか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

成年後見制度について知っていることはあるか聞いたところ、「知っているものは特にない」(43.2%)が4割を超え最も高く、以下、「成年後見人は、その人の代わりに生活に必要なこと(お金の管理や入院、入所等の契約など)をする」(40.4%)、「成年後見制度を利用するには、家庭裁判所での手続きが必要である」(34.0%)などと続く。

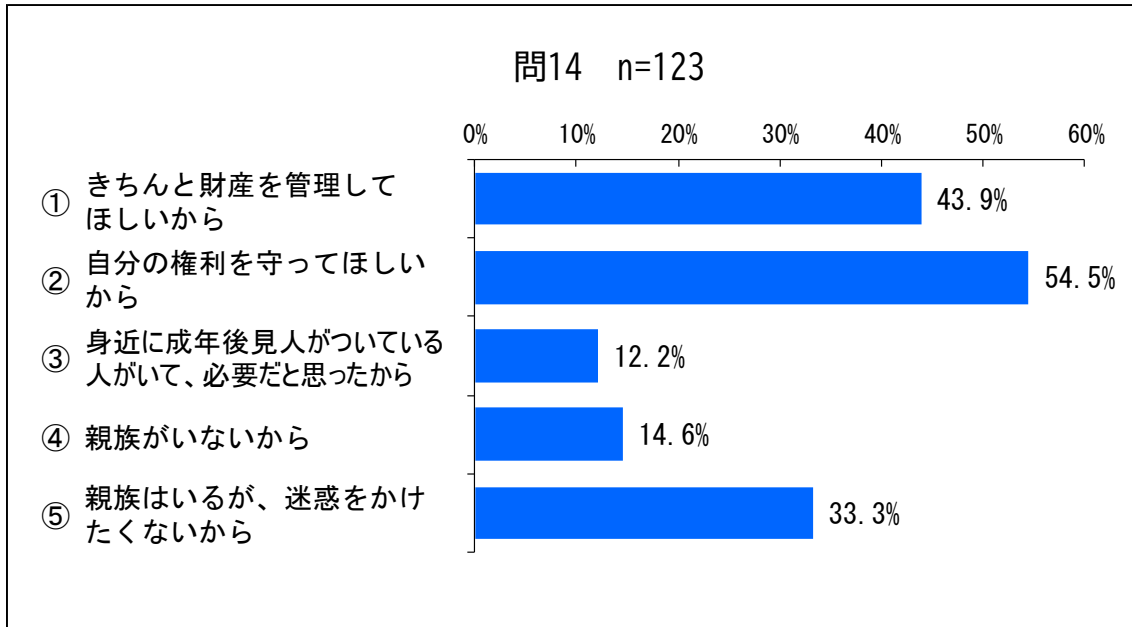
問13. 将来必要になったら、自分自身のために成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)



<調査結果>

将来必要になったら、自分自身のために成年後見制度を利用したいと思うか聞いたところ、「利用したくない」(50.8%)、「利用したい」(49.2%)ともにほぼ5割となった。

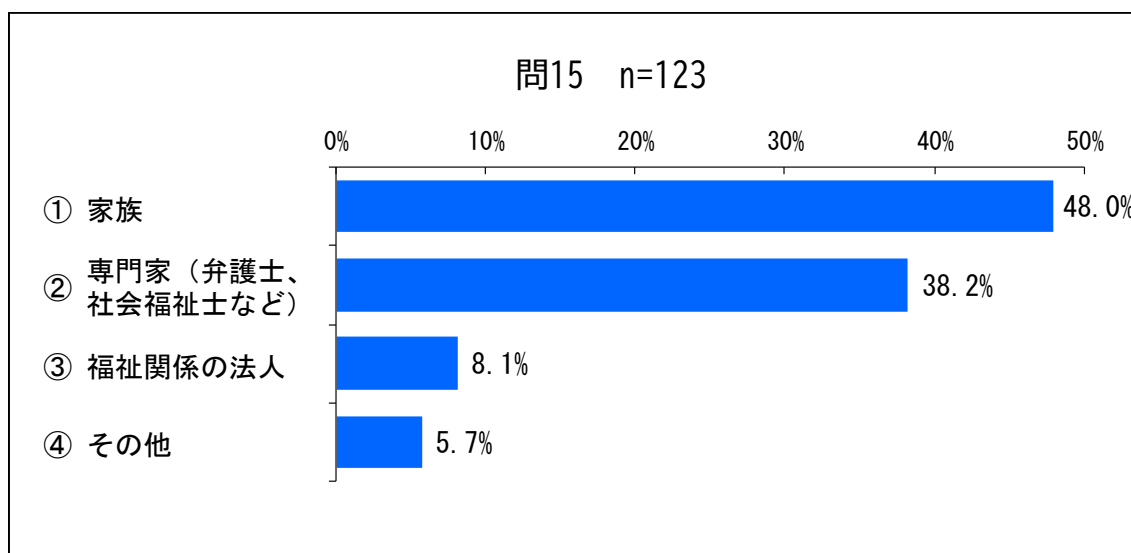
問14. 問13で「利用したい」を選択した方にお聞きします。利用したい理由を次の中から選択してください。(〇はいくつでも)



<調査結果>

成年後見制度を利用したい理由を聞いたところ、「自分の権利を守ってほしいから」(54.5%)が5割半ばと最も高く、以下、「きちんと財産を管理してほしいから」(43.9%)、「親族はいるが、迷惑をかけたくないから」(33.3%)などと続く。

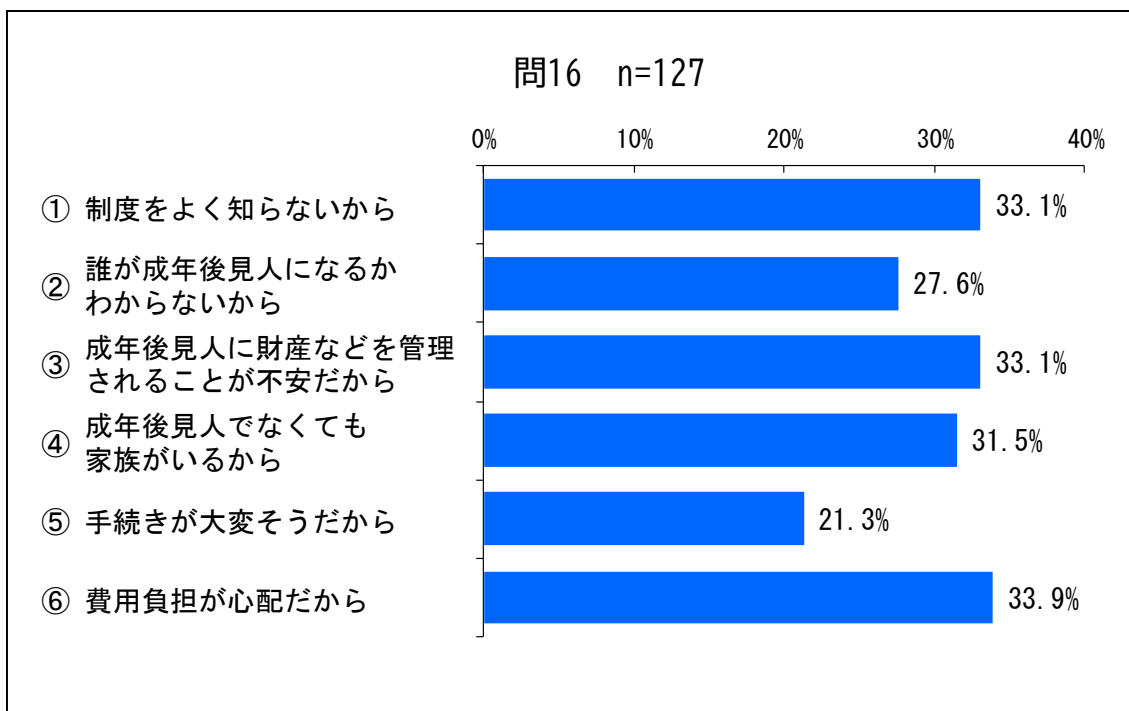
問15. 問13で「利用したい」を選択した方にお聞きします。誰に成年後見人になってほしいと思いますか。(○は1つ)



<調査結果>

誰に成年後見人になってほしいと思うか聞いたところ、「家族」(48.0%)が5割近くと最も高く、以下、「専門家（弁護士、社会福祉士など）」(38.2%)、「福祉関係の法人」(8.1%)などと続く。

問16. 問13で「利用したくない」を選択した方にお聞きします。利用したくない理由を次の中から選択してください。(〇はいくつでも)



<調査結果>

成年後見制度を利用したくない理由を聞いたところ、「費用負担が心配だから」(33.9%)が3割を超え最も高く、以下、「制度をよく知らないから」(33.1%)、「成年後見人に財産などを管理されることが不安だから」(33.1%)などと続く。

問17. 高齢化に伴い、成年後見制度の利用を必要とされる方は増加すると思われませんが、成年後見制度をより多くの方に利用してもらうためには何が必要だと思いますか。ご自由にご記入ください。(記述回答)

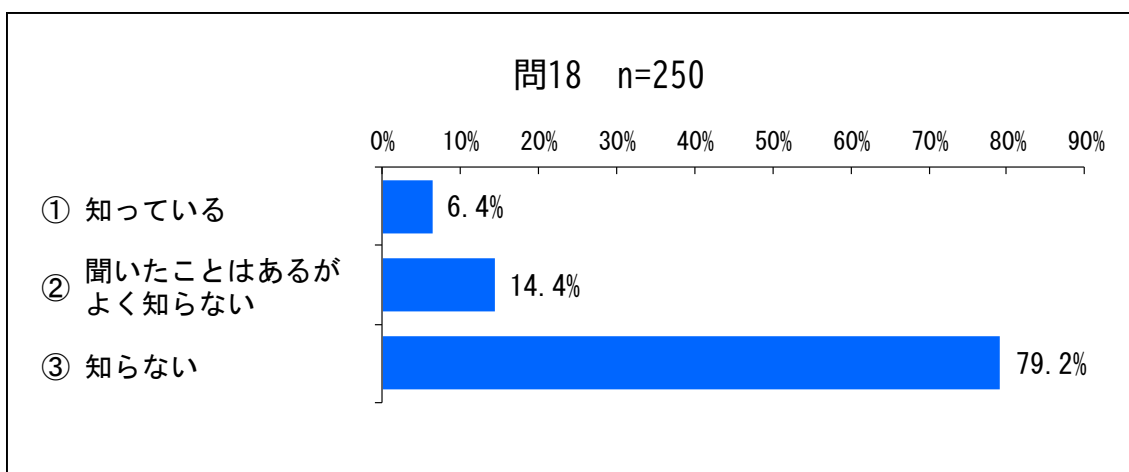
(主な意見)

- 使いたいと思うメリットを全面的に宣伝する
- 制度の内容やメリット・デメリットを、高齢者だけでなく現役世代も含めた全ての人に、わかりやすい言葉で伝える活動(広報・講演会など)が必要
- 信頼できるかどうか。機能しているのか、希望が守られるのかどうか、違法行為などがないよう管理、管轄される機関があるのか。
- 任せて安心な制度。任せて不利益を被らない制度。責任と権限が明確になっていること
- この制度の利用の実例をできるだけたくさん紹介して欲しい
- 分かりやすい事例をあげて啓蒙して不安に思うことが一つでも減少すれば手段の一つとして考えることができる
- 制度の周知と、具体的な時間的・金銭的負担の例の提示。
- やはり動画などで一から解りやすく順を追って、堅い雰囲気抜きに解説していくしかない
- 告知家族がいない人、家族がいても頼れない人は活用すべき制度と思う。メリットだけでなくデメリットも伝えないといけない
- 手続きの簡素化
- 安価での利用。家族や親族が後見人になれるような手続き
- 専門家によるサポート
- 後見人の人柄(ほんとうに親身になれる、信頼関係がつかれる)が大事。「仕事としてだけ」では難しいと思う

特になし (全 38 件)

わからない・思いつかない (全 32 件)

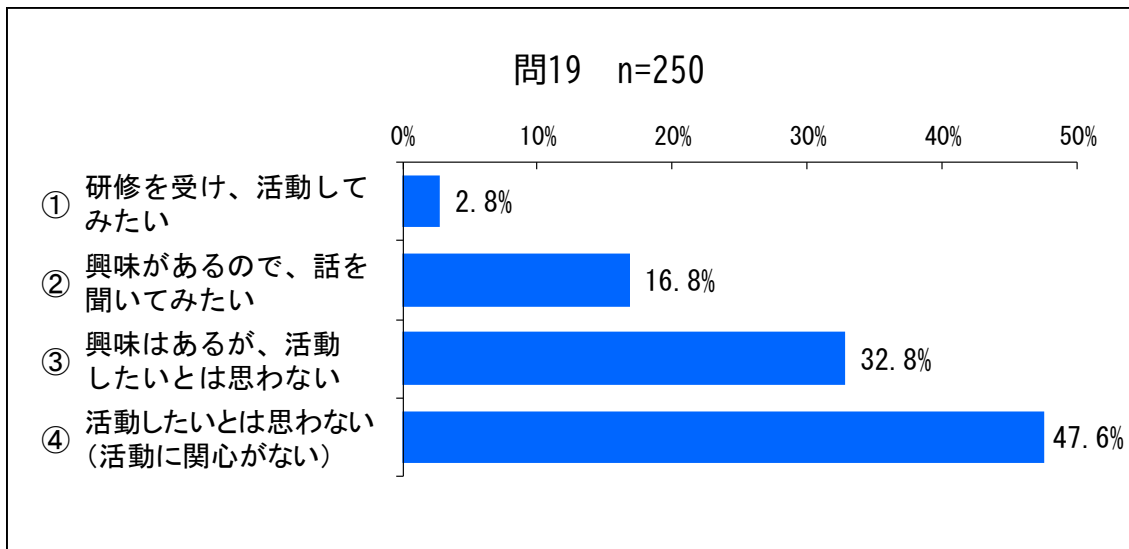
問18. 成年後見人には、家族、または弁護士・社会福祉士などの専門家以外に、区民の方がその業務を務める「区民成年後見人」がいます。区は、区民が成年後見人として活躍できるよう、人材育成や活動の支援をしています。あなたはこの取組みについて、知っていますか。(○は1つ)



<調査結果>

世田谷区が、区民が成年後見人として活躍できるよう人材育成や活動の支援をしている取組みを知っているか聞いたところ、「知らない」(79.2%)がほぼ8割と最も高く、以下、「聞いたことはあるがよく知らない」(14.4%)、「知っている」(6.4%)と続く。

問19. あなたは区民成年後見人として活動してみたいと思いますか。
(○は1つ)



<調査結果>

区民成年後見人として活動してみたいと思うか聞いたところ、「活動したいとは思わない (活動に関心がない)」(47.6%) が5割近くと最も高く、以下、「興味はあるが、活動したいとは思わない」(32.8%)、「興味があるので、話を聞いてみたい」(16.8%) などと続く。

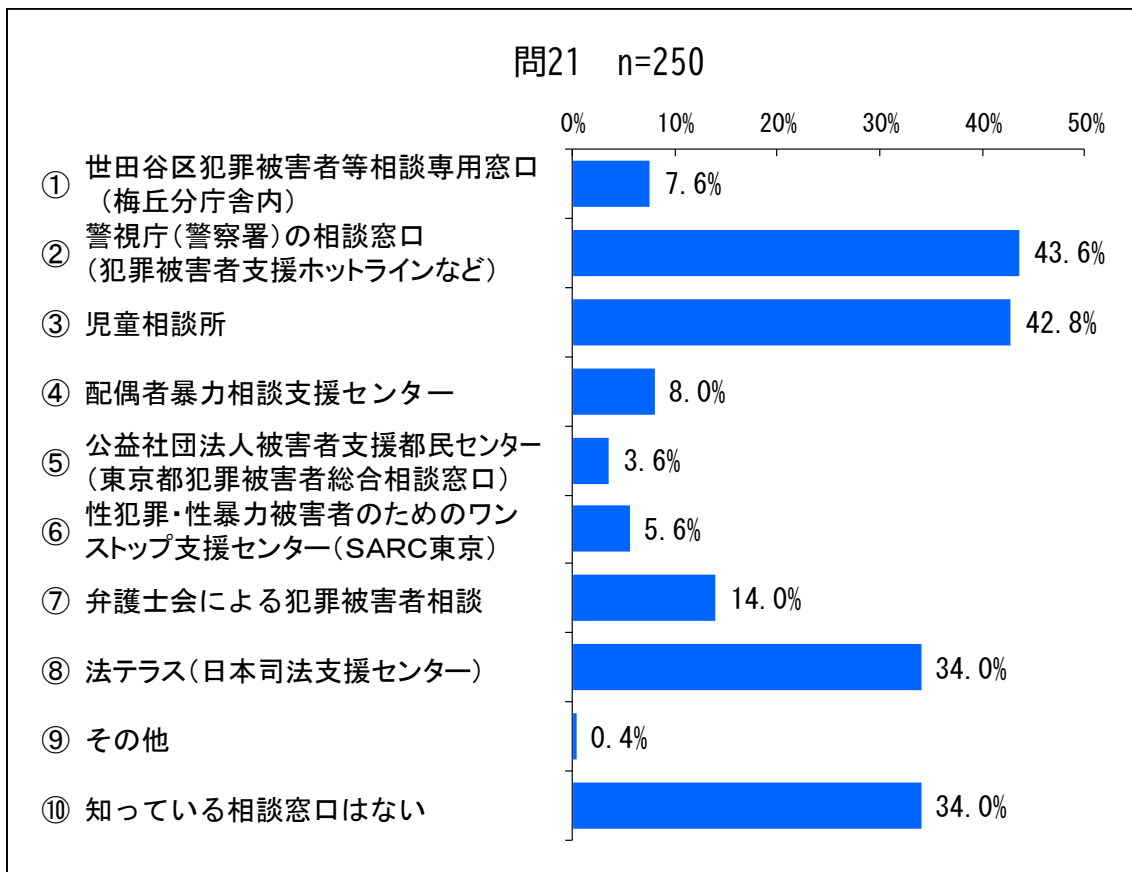
問20. 問19で「興味はあるが、活動したいとは思わない」を選択した方にお聞きします。活動したいとは思わない理由をご記入ください。
(記述回答)

(主な意見)

- 時間が取れない・忙しい (全16件)
- 高齢だから・自分が成年後見人をつける側だから (全15件)
- 責任が重い・負担が大きい (全11件)
- 自信がない・不安がある (全9件)
- 難しそう・大変そう (全8件)
- 余力がない・余裕がない・自分のことで精一杯 (全8件)
- 活動内容・全体像・割く時間がわからない (5件)
- 知識・ノウハウ・知見がない (全4件)
- トラブルが多そう・人の人生に係わりたくない (全3件)
- 体力がいる (全3件)
- 面倒そう (全2件)
- 特にない (全2件)

■ 「犯罪被害者等支援について」

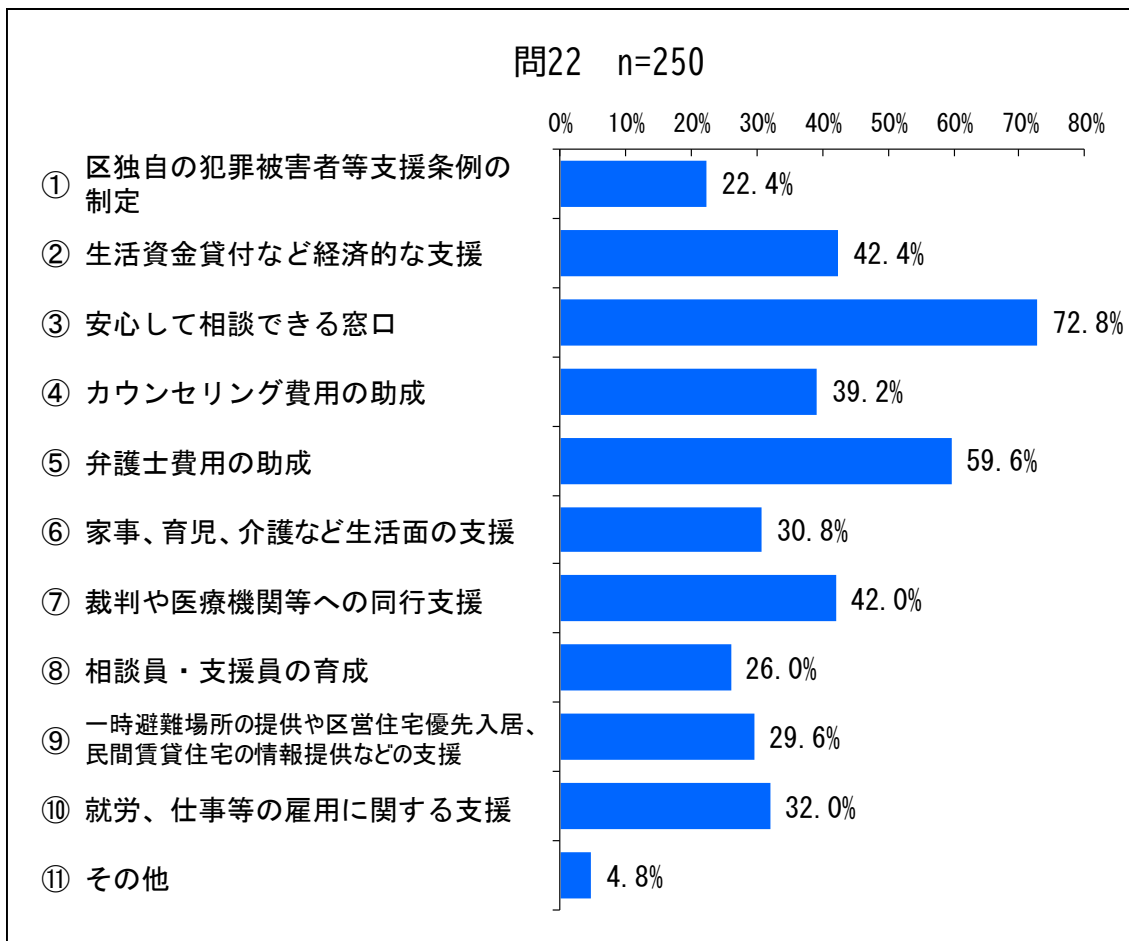
問21. あなたが、以下の犯罪被害者とその家族または遺族の支援のための相談窓口の中で、知っているものを選んでください。(〇はいくつでも)



<調査結果>

犯罪被害者とその家族または遺族の支援のための相談窓口で知っているものを聞いたところ、「警視庁(警察署)の相談窓口(犯罪被害者支援ホットラインなど)」(43.6%)が4割を超え最も高く、以下、「児童相談所」(42.8%)、「法テラス(日本司法支援センター)」(34.0%)、「知っている相談窓口はない」(34.0%)などと続く。

問22. 万が一、あなたが犯罪被害にあわれた場合、どのような支援が必要だと思うかお聞かせください。(〇はいくつでも)



<調査結果>

万が一、犯罪被害にあわれた場合、どのような支援が必要だと思うか聞いたところ、「安心して相談できる窓口」(72.8%)が7割を超え最も高く、以下、「弁護士費用の助成」(59.6%)、「生活資金貸付など経済的な支援」(42.4%)などと続く。

問23. 問22で「万が一、あなたが犯罪被害にあわれた場合、どのような支援が必要だと思うかお聞かせください。」の質問で「その他」と答えた方にお尋ねします。どのような支援が必要だと思うかお聞かせください。
(記述回答)

(主な意見)

- 警察署や弁護士事務所への同行
- 匿名での相談制度

特にない (全4件)

わからない (全2件)